

セイコーウオッチ株式会社



取扱説明書

このたびはクレドールをお買い上げいただき、  
ありがとうございました。

日本人独自の感性と精緻をきわめた技術で、  
世界に誇れる上質な腕時計をつくろう。  
私たちはそうした想いを胸に、  
高級腕時計の創造に情熱を傾けてきました。  
クレドールとは、フランス語で  
「黄金の頂き = CRÊTE D'OR」を意味する名前です。  
そこには、常に頂点であろうとする  
確固たる決意が込められています。

末長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

製品取扱上のご注意



警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

電池や部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。  
万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

2



注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

・以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
  - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
  - 高湿度なところ
  - 磁気や静電気の影響があるところ
  - ホコリの多いところ
  - 強い振動のあるところ
- ※ 電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。

・アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・その他のご注意

- 商品の分解・改造はしないでください。
  - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
- ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

3



警告

この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には  
絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる苛酷な  
環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。  
専用のダイバーズウォッチをご使用ください。



注意

直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の  
時計でも防水不良になるおそれがあります。

4



注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを  
操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。  
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は  
防水不良です。  
お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは  
避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスが  
さびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早める  
ことがあります。

5

メカニカルウォッチの特徴（手巻、自動巻）

- ・この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- ・止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを20回位手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- ・精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差（一日あたりの進み・遅れ）となります。
- ・ご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等）によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- ・外部から強い磁気の影響を受けますと、一時的に精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

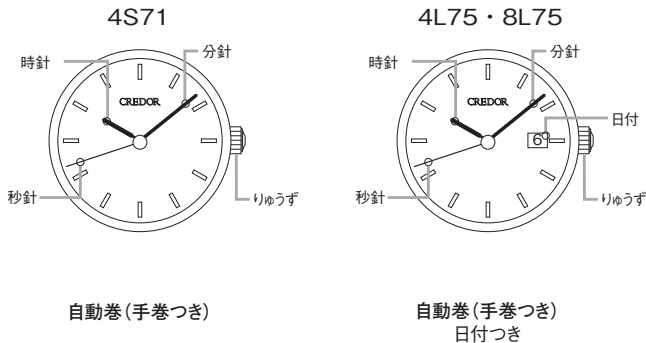
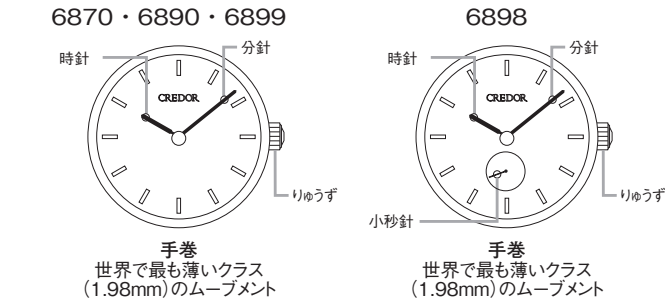
目次

製品取扱上のご注意	2	時刻・曜日・日付の合わせ方 (4S76・4S77)	2 8
メカニカルウォッチの特徴（手巻、自動巻）	6	月末の日付修正について	3 1
操作方法		時差修正の使い方	3 2
機種別一覧と各部の名称	1 2	時刻・24時針・日付の合わせ方 (8L36)	
りゅうずについて	1 8	24時針を普通の24時針として合わせる場合	3 4
ぜんまいの巻き方	1 9	24時針を他の地域の時刻表示として合わせる場合	3 6
パワーリザーブ表示について	2 1	時差修正の操作方法	3 8
時刻の合わせ方		日付の合わせ方	3 9
①秒針がついていないタイプ	2 2	世界の主な地域の時差一覧	4 0
②秒針つき（小秒針つき）タイプ	2 3	クロノグラフ機能の使い方（6S系）	4 2
時刻・日付の合わせ方		タキメーター（TACHYMETER）の使い方	4 3
（4L75・8L75・6S37・6S77・6S78）	2 5		
月末の日付修正について	2 7		

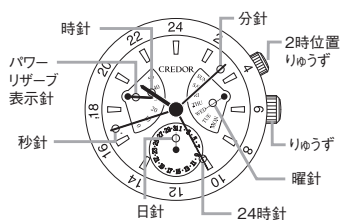
テレメーター（TELEMETER）の使い方	4 4	こんな時には	
ご使用上のご注意とお願い		こんな時には	6 4
お手入れについて	4 6	製品仕様	
性能と型式について	4 7	製品仕様	6 6
防水性能について	4 8		
耐磁性能について（磁気の影響）	5 0		
バンドについて	5 2		
三つ折れ式中留（なかどめ）の使い方	5 4		
18Kについて	5 6		
時計本体・金属バンドについて	5 7		
ルミブライトについて	5 8		
アフターサービス			
アフターサービスについて	6 0		

操作方法

機種別一覧と各部の名称（仕様の詳細はP66～P67をご覧ください）  
お客様の時計の型式番号を確認してから、各操作説明をご覧ください。  
型式番号は時計の裏側で確認することができます。→性能と型式について P.47  
※型式番号は時計の種類を示す番号です。

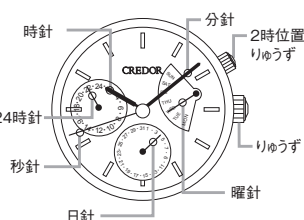


4S76



自動巻(手巻つき)  
レトログランド式曜針機能  
時差修正機能  
パワーリザーブ機能  
日付つき

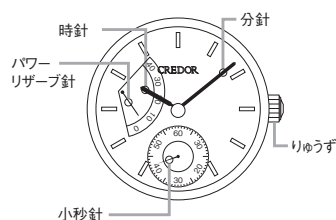
4S77



自動巻(手巻つき)  
レトログランド式曜針機能  
時差修正機能  
24時針  
日付つき

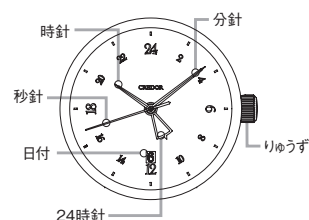
14

4S79



手巻  
パワーリザーブ機能つき

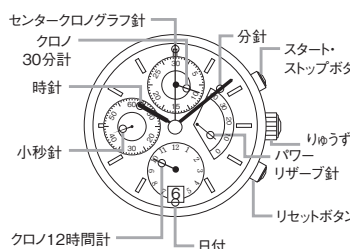
8L36



自動巻(手巻つき)  
時差修正機能  
24時針  
日付つき

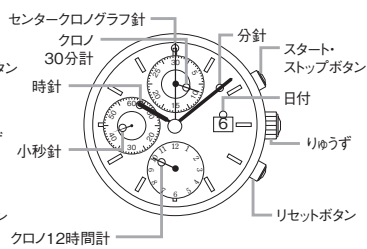
15

6S37・6S77



自動巻(手巻つき)  
パワーリザーブ機能  
クロノグラフ  
日付つき

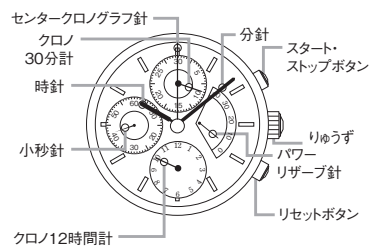
6S78



自動巻(手巻つき)  
クロノグラフ  
日付つき

16

6S74・6S96・6S99

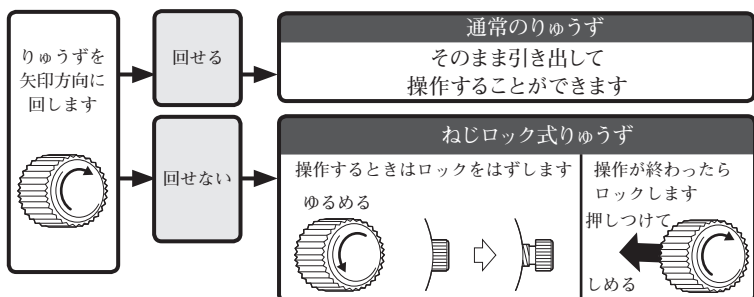


6S74、6S99:手巻、  
6S96:自動巻(手巻つき)  
パワーリザーブ機能  
クロノグラフつき

17

## りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとはロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



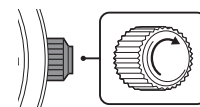
※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。  
※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

18

## ぜんまいの巻き方

手巻(自動巻を手で巻くときも同様です。)

1. りゅうずは引き出さないでください。  
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください)
2. りゅうずを右(12時方向)にゆっくり回して、ぜんまいを巻き上げます。  
・ぜんまいがフル巻きに近付くと、りゅうずの回転が多少重くなりますが、これは巻き上げられたぜんまいの反発力によるものですので異常ではありません。  
・フル巻き上げの状態からも更にりゅうずを回すことができる構造ですので、ぜんまいを切る心配はありませんが過剰な操作はお控えください。  
(4S、6S、4L、8L系)



ご注意: 薄型の68系は、巻き上がるとりゅうずを回すのが重くなります。それ以上無理に力を入れるとぜんまいが切れる場合がありますのでご注意ください。

3. ぜんまいは毎日一定の時刻に十分巻いてご使用ください。十分な巻き上げによってより安定した精度が得られます。

19

## パワーリザーブ表示について

パワーリザーブ表示で、ぜんまいの巻き上げ状態(持続時間)のめやすが確認できます。

時計を腕からはずして置いておくときは、次に使用(携帯)するときまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示で確認し、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。(時計を止めないようにして使い続けるためには、余裕を持った時間ぶんを巻き上げるようにしてください。)

## 自動巻(手巻つき)

ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。またりゅうずを回してもぜんまいを巻くこともできます。

止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずをまわしぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、日付けと時刻を合わせてから腕にお付けください。

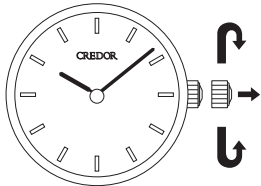
ぜんまいの巻き上げ不足は進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯されることをお勧めします。巻き上げが不十分な場合は、毎日一定の時刻にぜんまいを巻き上げてください。

20

21

時刻の合わせ方

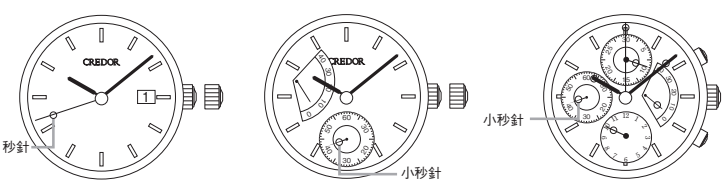
①秒針がついていないタイプ（6870・6890・6899）



- 1. 時計が動いていることを確認します。  
※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。→ぜんまいの巻き方 P.19
- 2. りゅうずを引き出します。
- 3. りゅうずを回して時刻を合わせりゅうずを押し込みます。  
※68系はりゅうずを引き出した状態でも動き続けます。  
◎時刻合わせは電話の時報サービスTel.117が便利です。  
◎機械式時計は輪列の構造上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

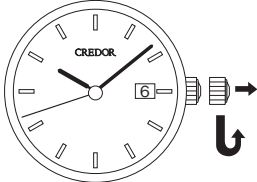
- 4. 時報と同時にリュウズを押し込むと動き出します。  
◎時刻合わせは電話の時報サービスTel.117が便利です。  
◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。  
◎機械式時計は輪列の構造上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

②秒針つき（小秒針つき）タイプ（6898・4S71・4S79・6S74・6S96・6S99）



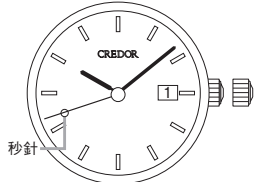
- 1. 時計が動いていることを確認します。  
※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。→ぜんまいの巻き方 P.19
- 2. 秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを引き出し、秒針を止めます。  
※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。→りゅうずについて P.18
- ※68系の小秒針付(6898)はりゅうずを引き出した状態でも秒針は動き続けます。
- 3. りゅうずを回して時刻を合わせます。

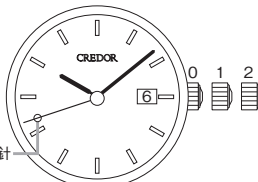
時刻・日付の合わせ方（4L75・8L75・6S37・6S77・6S78）

- ※24時間に1回日付を一日分送るようになっています。  
日付は、「午前0時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12時」ごろに日付が変わってしまいます。
  - 1. 時計が動いていることを確認します。  
※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。→ぜんまいの巻き方 P.19
  - ◎時刻表示が午後10時から午前1時までの間、日付の修正をしないでください。  
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り替わらないことや、故障の原因となる場合があります。
  - 2. りゅうずを1段目まで引き出してください。  
※ねじロック式りゅうずの場合はロックを外してください。→りゅうずについて P.18
  - 3. りゅうずを右方向（12時方向）に回すことで、日付の修正ができます。  
まず、合わせたい日の前日の日付に合わせます。
- 
- (例) 合わせる日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。

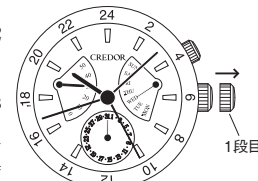
月末の日付修正について

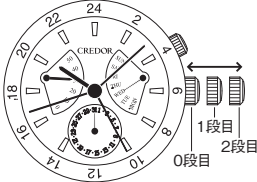
2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

- (例) 小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを右回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。
- 
- ◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
  - ◎時刻表示が午後10時から午前1時までの間、日付の修正をしないでください。  
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り替わらないことや、故障の原因となる場合があります。

- 4. 秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを2段目まで引き出し、秒針を止めます。
  - 5. りゅうずを、針が進む方向に回し、日付が今日の日付になるまで回してください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。
  - 6. 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと動き出します。  
◎時刻合わせは電話の時報サービスTel.117が便利です。  
◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。  
◎機械式時計は輪列の構造上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。
- 

時刻・曜日・日付の合わせ方（4S76・4S77）

- ※24時間に1回日付を一日分送るようになっています。  
「日針」は「午前0時」ごろ、「曜針」は午前2時半ごろ送り終わります。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12時」ごろに「日針」が、午後2時半ごろに「曜針」が変わってしまいます。
  - 1. 時計が動いていることを確認します。  
※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。→ぜんまいの巻き方 P.19
  - ◎時刻表示が午後9時30分から午前2時30分までの間、日付の修正をしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日針・曜針が切り替わらないことや、故障の原因となる場合があります。
  - 2. 3時位置りゅうずを2段目に引き出して回転させ、「24時針」と「分針」とを12時位置に合わせます。  
※ねじロック式りゅうずの場合はロックを外してください。→りゅうずについて P.18
  - 3. 3時位置りゅうずを0段目に押し込みます。  
※このとき、時針が12時の位置に来ていない場合は、下の4〜5を行ってください。時針が12時の位置に来ている場合は6に進んでください。
- 

- 4. 2時位置りゅうずを1段目に引き出し回転させ、時差修正を行い、「時針」を12時位置に合わせます。  
※時修正は正針回し方向、逆針回し方向どちらに回しても問題はありません。
  - 5. 2時位置りゅうずを0段目に押し込みます。
  - 6. 3時位置りゅうずを1段目に引き出してください。
  - 7. 3時位置りゅうずを右回転で曜修正を行い「曜日」を合わせたい日の前日の曜日に合わせ、さらに左回転で日修正を行い「日付」を合わせたい日の前日の日付に合わせます。  
※曜修正は針が2段階で一目盛り動きます。確認をしながら合わせてください。  
※右回転により「曜修正」が行われますと同時に、ぜんまいも巻き上がり、りゅうず巻き上げが若干重くなりますが異常ではありません。
  - 8. 秒針が0秒位置にあるときに3時位置りゅうずを2段目まで引き出し、秒針を止めます。
  - 9. 3時位置りゅうずを、針が進む方向に回し、曜日と日付が今日の曜日と日付になるまで回してください。曜日と日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に
- 



合わせます。

10. 時報と同時に3時位置りゅうずを0段目まで押し込むと動き出します。  
※時刻合わせは電話の時報サービスTel.117が便利です。

- ◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
- ◎機械式時計は輪列の構造上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

ご注意：

曜針が月曜日の位置にあるときに午前1時付近で分針を戻し方向に動かすと、時針が空回りすることがありますので、この時間帯は避けてください。

- ・この現象は分針を進行方向のみで針合わせをしていたら起こりません。

時差修正の使い方

2時位置のりゅうず操作により、時針のみを単独で1時間単位で修正する「時差修正機能」を備えています。

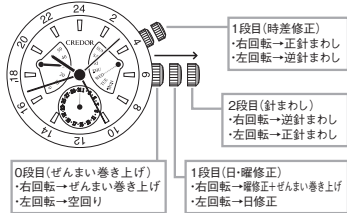
海外で使用する場合に時計の分針・秒針を止めずに現地時刻に合わせることができるとともに、24時針 (GMT針) により、ホームタイムとローカルタイムを同時に表示することができるデュアルタイム仕様としての利用が可能です。

1. 3時位置りゅうずが0段であることを確認の上、2時位置りゅうずを1段目に引き出します。

2. 2時位置りゅうずを回して目的地の時刻に合わせます。

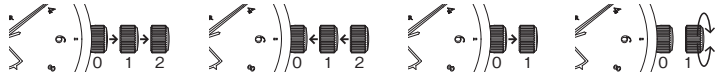
3. 時針合わせが終わったら、2時位置りゅうずを0段に押し込みます。

※時針を現地時刻 (ローカルタイム) に修正した後も、24時針は元の時刻 (ホームタイム) を表示したままですので、デュアルタイムとして使用できます。



時刻・24時針・日付の合わせ方 (8L36)

24時針を普通の24時針として合わせる場合



1. 時計が動いていることを確認します。  
※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。 → ぜんまいの巻き方 P.19
2. 秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを2段目まで引き出し、秒針を止めます。  
※ねじロック式りゅうずの場合はロックを外してください。 → りゅうずについて P.18
3. りゅうずを回し、まず24時針と分針を現在時刻に合わせます。24時針は現在時刻の午前午後に注意して合わせます。
4. 時報と同時にりゅうずを押し込んでください。24時針、分針、秒針の合わせができました。
5. 時針を現在時刻に合わせます。りゅうずを1段目まで引き出します。
6. りゅうずを回し、現在時刻にあわせます。

24時針を他の地域の時刻表示として合わせる場合

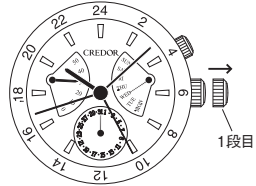


1. 時計が動いていることを確認します。  
※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。 → ぜんまいの巻き方 P.19
2. 秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを2段目まで引き出し、秒針を止めます。  
※ねじロック式りゅうずの場合はロックを外してください。 → りゅうずについて P.18
3. りゅうずを回し、24時針と分針をGMT時刻に合わせます。24時針は午前午後に注意して合わせます。
4. 時報と同時にりゅうずを押し込んでください。24時針、分針、秒針の合わせができました。
5. 時針を日本時間に合わせます。りゅうずを1段目まで引き出します。
6. りゅうずを回し、現在時刻にあわせます。  
■日付を合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。(詳しくはP.39「日付の合わせかた」を参照してください。)

月末の日付修正について

2月 (1カ月が28日、うるう年は29日) と小の月 (1カ月が30日) では日付の修正が必要になります。

(例) 小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合「1日」ではなく「31日」を指しています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを左回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



- ◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
- ◎時刻表示が午後9時30分から午前2時30分までの間、日付の修正をしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り替わらないことや、故障の原因となる場合があります。

ご注意：

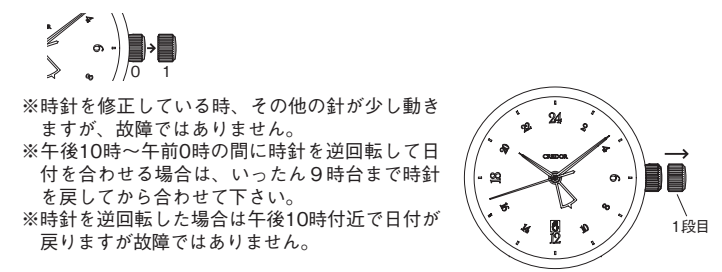
2時位置りゅうずでの時差修正の際は、3時位置りゅうずを2段目 (針回し状態) のままりゅうず操作しますと、時差修正が空振りして時差修正が出来ない恐れがありますので、必ず3時位置りゅうずを0段に押し込んだ状態で操作してください。

- 日付を合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。(詳しくはP.39「日付の合わせかた」を参照してください。)
- ※時計と日付表示の動きを確認しながら、午前午後を間違いなく合わせてください。
- ※時計を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。
7. 合わせ終わったらりゅうずを押し込んでください。
- ◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
  - ◎機械式時計は輪列の構造上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

- ※時計と日付表示の動きを確認しながら、午前午後を間違いなく合わせてください。
- ※時計を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。
7. 時差修正が終わったら、りゅうずを押し込んでください。
- ◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
  - ◎機械式時計は輪列の構造上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

時差修正の操作方法

時差の求めかたで計算した値などで時差修正します。



- ※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが、故障ではありません。
- ※午後10時～午前0時の間に時針を逆回転して日付を合わせる場合は、いったん9時台まで時針を戻してから合わせて下さい。
- ※時針を逆回転した場合は午後10時付近で日付が戻りますが故障ではありません。

1. りゅうずを1段目まで引き出してください。
2. りゅうずを回して時針のみを動かします。
3. 時差修正が終わったら、りゅうずを押し込んでください。

◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。

世界の主な地域の時差一覧

→ ●時差修正の操作方法 P.38

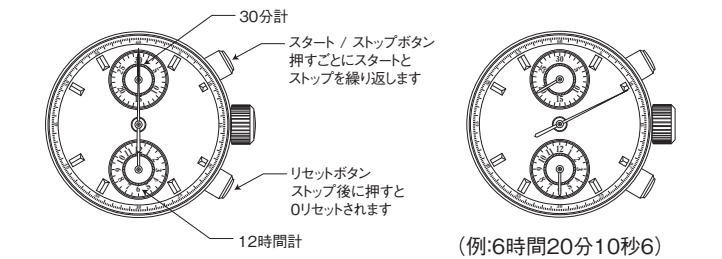
★印の地域ではサマータイムが導入されています。(07/1月現在)

代表都市名	日本からの時差	UTCからの時差	その他の都市
ウェリントン★	+ 3 時間	+12時間	フィジー諸島、オークランド★
ヌーメア	+ 2 時間	+11時間	ソロモン諸島
シドニー★	+ 1 時間	+10時間	グアム島、ハバロフスク★
東京	± 0 時間	+ 9 時間	ソウル、平壤
香港	- 1 時間	+ 8 時間	マニラ、北京、シンガポール
バンコク	- 2 時間	+ 7 時間	ジャカルタ
ダッカ	- 3 時間	+ 6 時間	
カラチ	- 4 時間	+ 5 時間	タシケント★
ドバイ	- 5 時間	+ 4 時間	
モスクワ★	- 6 時間	+ 3 時間	メッカ、ナイロビ
カイロ★	- 7 時間	+ 2 時間	アテネ★、イスタンブール★

※各地域の時差、及びサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。

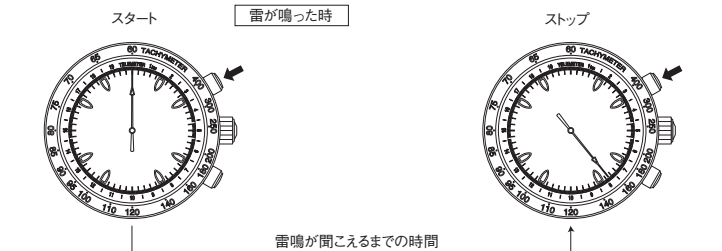
クロノグラフ機能の使い方 (6S系)

- 1/8秒単位で最大12時間まで計測可能なストップウォッチ機能です。
- ・スタート／ストップボタンを続けて押すことで積算計測ができます。
  - ・ぜんまいの巻き上げが不十分な場合、クロノグラフ機能は作動しません。
  - ・リセットボタンはクロノグラフ停止時のみ作動します。



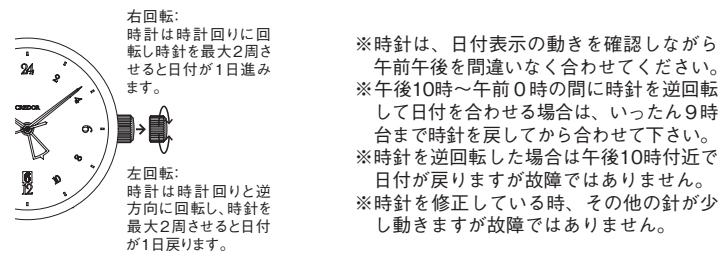
テレメーター (TELEMETER) の使い方

ある事象(例：雷)が見えてから、それによる音が聞こえるまでの時間を測定し、その音の発生場所までの距離を換算表示する機能です。



1. 雷が光ったときにクロノグラフ秒針をスタートさせます。
  2. 雷鳴が聞こえた時にストップさせ、秒針が指しているテレメーターの数字を読み取ります。
- 自分のいる地点から雷が発生している地点まで8km。

日付の合わせ方



1. りゅうずを1段目まで引き出してください。
2. りゅうずを回し、時針を最大2周させる毎に日付が1日分修正できます。
3. 日付合わせが終わったら、時針の位置を再度確認してりゅうずを押し込んで下さい。

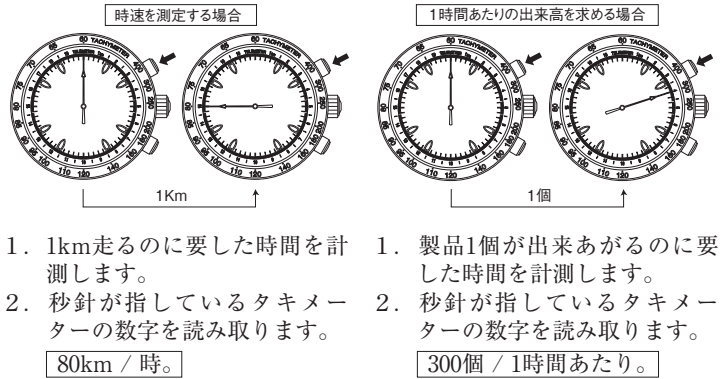
◎ねじロック式りゅうずのモデルは、必ずりゅうずを元通りに締めてください。

※世界各地には協定世界時 (UTC) を基準にした時刻の差、時差があります。世界各地は1時間ごとの時差を持つ24の地域に分けられており、地球1周で24時間 (1日) になるように、国際的に運用しています。地域によっては個別にサマータイム(夏時間)が設定されています。※サマータイムは時差+1時間で、夏の間に時刻を1時間進めて、昼間の時間を長くする制度です。

代表都市名	日本からの時差	UTCからの時差	その他の都市
パリ★	- 8 時間	+ 1 時間	ローマ★、アムステルダム★
ロンドン★	- 9 時間	± 0 時間	カサブランカ
アブレス諸島★	-10時間	- 1 時間	
リオデジャネイロ★	-12時間	- 3 時間	
カラカス	-13時間	- 4 時間	サンティアゴ★
ニューヨーク★	-14時間	- 5 時間	ワシントン★、モントリオール★
シカゴ★	-15時間	- 6 時間	メキシコシティ★
デンバー★	-16時間	- 7 時間	エドモントン★
ロサンゼルス★	-17時間	- 8 時間	サンフランシスコ★
アンカレッジ★	-18時間	- 9 時間	
ホノルル	-19時間	-10時間	
ミッドウェイ島	-20時間	-11時間	

タキメーター (TACHYMETER) の使い方

単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。



1. 1km走るのに要した時間を計測します。
  2. 秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。
- 80km / 時。
1. 製品1個が出来あがるのに要した時間を計測します。
  2. 秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。
- 300個 / 1時間あたり。

ご使用上の注意とお願い

## お手入れについて

- 日ごろからこまめにお手入れしてください
  - ・時計本体、バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとお肌の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがあります。時計を外したときは、早めに柔らかい布などで汗や水分をふき取って、常に清潔にしてください。
  - ・その際はクリーナー等薬品は使用しないでください。
- りゅうずは時々回してください（ゆっくりと数回で結構です）
  - ・りゅうずのさびつきを防止し、使用しているパッキンの寿命も延びます。
  - ・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。（りゅうずを引き出す必要はありません）→りゅうずについて P. 18
  - ・ステンレスはさびにくい金属ですが、汚れをそのままにしておくとさびやすくなります。

### 1. 防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。（「P.47」をご覧ください）

裏ふた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキンドайビングに使用できます。

## 耐磁性能について ( 磁気の影響 )

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

この時計については、JIS 1 種相当の耐磁性能があります。

お取扱方法
磁気製品より 5 c m以上遠ざける必要があります。 (JIS 水準 1 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

- この時計が磁気の影響を受ける理由  
内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁気の影響を受けます。

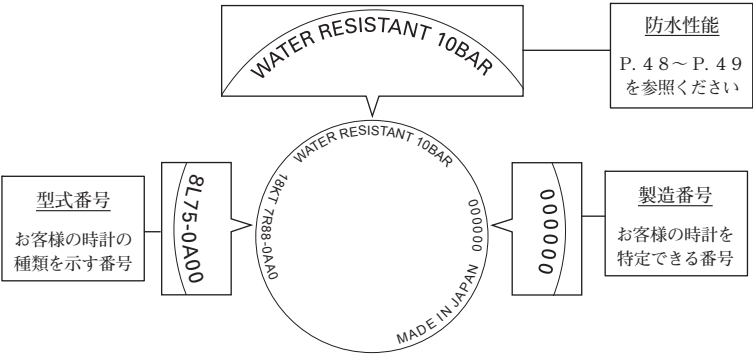
## バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

- 金属バンド
  - ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
  - ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
  - ・水や汗・汚れは、早めに柔らかい布でふき取ってください。
  - ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかい歯ブラシなどで取り除いてください。（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
  - ・チタンバンドでも、ピン類に強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
  - ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
  - ・万一ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

## 性能と型式について

時計の裏側でも性能と型式の確認ができます。



※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例

携帯電話  
(スピーカー部)

交流電気かみそり

バッグ  
(磁石の止め金)

電磁調理器

携帯ラジオ  
(スピーカー部)

磁気ネックレス

磁気健康枕

- 皮革バンド
  - ・水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
  - ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
  - ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
  - ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
  - ・時計本体が日常生活用強化防水で 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、入浴中や水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。
- ポリウレタンバンド
  - ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
  - ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
  - ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
  - ・（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
  - ・弾力性がなくなり、ひび割れが生じたら取り替え時期です。

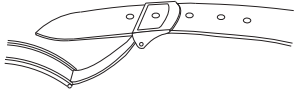
かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



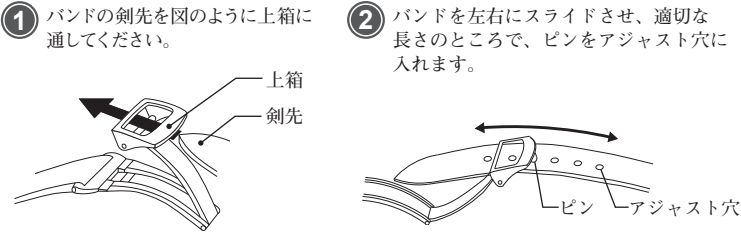


## 三つ折れ式中留（なかどめ）の使い方

### ・三つ折れ式中留



### ・バンドの長さを調節するには



54

## 18K について

18K（18KT）は金75%とその他の金属との合金です。  
他の金属の混ぜ具合によってイエローゴールド（YG）、ホワイトゴールド（WG）、ピンクゴールド（PG）の色分けをします。

### ●18Kの変色

- ・合金であることから金自体は変色しませんが、その他の金属がさまざまな原因で変色（赤味、黒ずみ）を起こすことがあります。
- ・日頃のお手入れも重要ですが、拭いても取れないときは仕上げ直しをお買い上げ店にご依頼ください。（有料となります。）

56

## ルミブライトについて

### お買い上げの時計がルミブライト付きの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3時間～5時間）発光します。  
光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。  
なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いによって、発光する時間に差が生じます。  
※ ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。

### <照度のめやすについて>

環 境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000ルクス
	くもり	10,000ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000ルクス以上
	くもり	1,000～3,000ルクス
	雨	1,000ルクス以下
照明 （白色蛍光灯40Wの下で）	1m	1,000ルクス
	3m	500ルクス（通常室内レベル）
	4m	250ルクス

58

## アフターサービスについて

### ・保証と修理について

- ・お買い求めいただきましたクレドールは、厳重な検査・調整を行った後、お手もとにお届けしております。しかし、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で、万一、保証期間内に不具合が生じた場合には、保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。メーカーにて無料で修理・調整させていただきます。
- ・保証期間、保証内容の詳細については、保証書に記載してあります。
- ・保証期間経過後の修理、およびクレドールについてのご相談は、お買い上げ店で承っております。その他わからない点がございましたら、弊社お客様相談窓口（巻末に記載）までお問い合わせください。

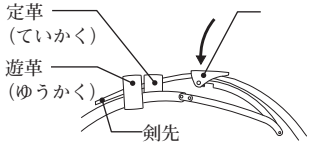
### ・修理用部品について

- ・クレドールの修理用部品の保有期間は、通常10年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理が可能です。
- ・修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なります。精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただきます。
- ・その他わからない点がございましたら、弊社お客様相談窓口（巻末に記載）までお問い合わせください。

60

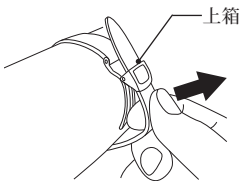
### ・着け方

バンドの剣先を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえ、留めます。

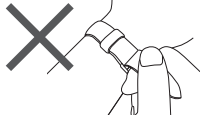


### ・外し方

バンドと中留の間に指を入れ、手前に引いて開きます。



※ バンドを持って開くことは避けてください。バンドが傷む原因となります。



※ 上記の方法で開きにくいときは、上箱の側面を持ち、中留を開いてください。

55

## 時計本体・金属バンドについて

### ● バンドの長さ調整（カット・寸延ばし）について

- ・18Kおよびプラチナのバンドの長さ調整は、お買い上げ店にご依頼ください。セイコープレミアムウォッチサービスステーションでお預かりして加工いたします。モデルによって2～3週間程度の納期をいただきます。
- ・18Kおよびプラチナのバンドの長さ調整は初回のみ無料です。ただし、寸延ばしに必要な材料・部品代および別途発生する修理代はご請求させていただきます。
- ・ステンレススチールのバンドの長さ調整は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・その他のお店では有料もしくはお取り扱いいただけない場合があります。

### ● 定期的な汚れ落としのすすめ

- ・長くご使用いただくために、定期的な汚れ落としをおすすめします。
- ・その際は、お買い上げ店もしくはお店経由でセイコープレミアムウォッチサービスステーションにご依頼ください。（有料となる場合があります。）

57

## アフターサービス

### ・分解掃除による点検調整（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、2年～3年に1度程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。
- ・この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。
- ・特にお買い上げ後2年目～3年目の分解掃除による点検調整（オーバーホール）を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整（オーバーホール）を、お買い上げ店にご依頼ください。
- ・部品交換の際は、「純正部品」とご指定ください。
- ・分解掃除による点検調整（オーバーホール）の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

61



こんな時には

62

こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった	ぜんまいが巻かれていない。	ぜんまいを手で巻くか、または数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が一時的に進む／遅れる	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、磁気の発生するものから離せば元にもどります。元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶついたり、または激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。
	3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない	お買い上げ店にご相談ください。
日付が日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。
ガラスのくもりが消えない	バッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

64

製品仕様

	6870	6890	6899	6898	8L36	8L75	4L75	4S71	4S76	4S77
機 能	時・分			時・分・小秒針	時・分・秒・24時	時・分・秒・日付		時・分・秒	時分秒・24時針・パワーリザーブ針・日針・曜針	時・分・秒・24時針・日針・曜針
振動数／1時間	21,600				28,800					
精 度	日差+25秒～-15秒				日差+15秒～-10秒					
駆動方式 ぜんまい巻	手巻				自動巻(手巻つき)					
持続時間	約37時間				約50時間		約42時間	約40時間	約50時間	
使用石数	22石		26石		27石	26石	25石		31石	28石

66

	4S79	6S74	6S37・6S77	6S96	6S99	6S78
機 能	時・分・小秒針・パワーリザーブ針	時・分・小秒針・パワーリザーブ針・センタークロノグラフ針・30分計・12時間計  6S37・6S77は日付				時・分・小秒針・センタークロノグラフ針・30分計・12時間計 日付
振動数／1時間	28,800					
精 度	日差+15秒～-10秒					
駆動方式 ぜんまい巻	手巻		自動巻(手巻つき)		手巻	自動巻(手巻つき)
持続時間	約40時間	約60時間	約50時間	約60時間		約50時間
使用石数	31石	35石	40石	38石	35石	34石

- ・上記精度は工場出荷時に調整されたものです。
- ・メカニカルウォッチの特性上、ご使用になる条件（携帯条件・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など）によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。

67

Thank you very much for choosing a CREDOR watch.

Only the unique melding of traditional Japanese sensitivity and state-of-the-art technology can bring you a watch of this quality and character.

Doing so is our passion.

The CREDOR name is your guarantee.  
From the French crête d'or – “crest of gold” – it signifies our commitment to always being the very best.

We hope this CREDOR watch will be your favorite personal timepiece for many years to come.

68

## HANDLING CAUTIONS

### ⚠ WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Immediately stop wearing the watch in following cases.
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
  - If the pins protrude from the band.
  - ※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories.  
If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child

70

### ⚠ WARNING



#### Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

### ⚠ CAUTION



#### Do not pour running water directly from faucet.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

72

## Characteristics of mechanical watches (Windup type / Self-winding type)

- This watch is a mechanical watch that runs by a mainspring.
- Before using the watch, turn the crown by hand about 20 times to wind up the mainspring of the watch.
- While the loss / gain of a quartz watch is shown by the monthly or yearly rate, the loss / gain of a mechanical watch is shown by the daily rate (loss/gain per one day). The loss / gain of a mechanical watch changes delicately day by day, depending on various environment or conditions in which the watch is used (such as temperatures, the amount of time the watch has been worn, the amount of arm movement, and the amount that the mainspring is wound up).
- A mechanical watch may lose / gain time temporarily when it is affected by strong magnetism. If the parts of the watch become magnetized, the watch needs repair including demagnetizing. In this case, consult the retailer from whom the watch was purchased.

74

## CONTENTS

HANDLING CAUTIONS .....	7 0	(4L75·8L75·6S37·6S77·6S78) .....	9 3
Characteristics of mechanical watches (Windup type / self-winding type) .....	7 4	Date adjustment at the end of the month .....	9 5
CONTENTS .....	7 6	How to set the time, day, and date (4S76·4S77) .....	9 6
HOW TO USE .....		Date adjustment at the end of the month .....	9 9
Models and names of the parts (Refer to p.88 To p.89 For further details) .....	8 0	How to adjust the time zone .....	1 0 0
CROWN .....	8 6	How to set the time, 24-hour hand and date (8L36) .....	1 0 2
How to wind up the mainspring of the watch .....	8 7	Time difference adjustment .....	1 0 6
POWER RESERVE INDICATOR .....	8 9	To set the date .....	1 0 7
How to set the time .....	9 0	List of time zone differences in major regions of the world .....	1 0 8
How to set the time and date .....			

76

### ⚠ CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

- **Avoid the following places for wearing or keeping the watch.**
  - Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
  - Places where the temperature drops below 5℃ or rises above 35℃ for a long time
  - Places of high humidity
  - Places affected by strong magnetism or static electricity
  - Dusty places
  - Places affected by strong vibrations
- **If you observe any allergic symptoms or skin irritation**

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist
- **Other cautions**
  - Do not disassemble or tamper with the watch.
  - Keep the watch out of the reach of babies and children.

Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

71

### ⚠ CAUTION



#### Do not turn or pull out the crown when the watch is wet. Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the end of a book).



#### Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



#### Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

73

How to use the CHRONOGRAPH (6S series) .....	1 1 0	LUMIBRITE .....	1 2 6
How to use the TACHYMETER .....	1 1 1	AFTER-SALE SERVICE .....	1 2 8
How to use the TELEMETER .....	1 1 2	TROUBLE SHOOTING .....	1 3 2
TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH .....		TROUBLESHOOTING .....	1 3 2
DAILY CARE .....	1 1 4	SPECIFICATIONS .....	1 3 4
PERFORMANCE AND TYPE .....	1 1 5		
WATER RESISTANCE .....	1 1 6		
MAGNETIC RESISTANCE .....	1 1 8		
WATCH BAND .....	1 2 0		
HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP .....	1 2 2		
REMARKS ON 18-KARAT GOLD .....	1 2 4		
WATCH BODY/METAL BRACELET .....	1 2 5		

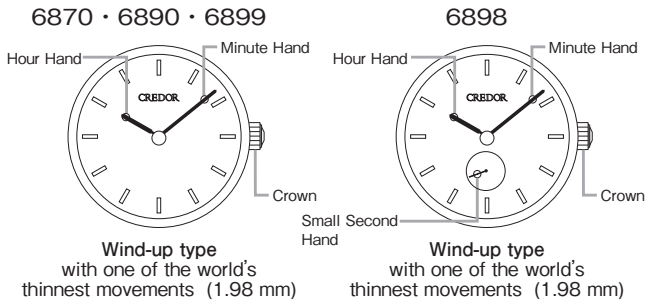
77

# HOW TO USE

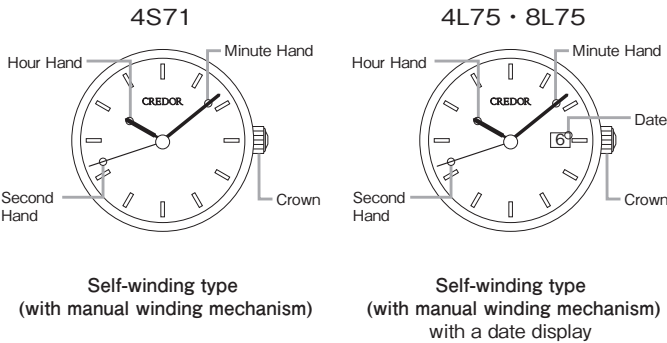
78

**Models and names of the parts** (Refer to P.134 to P.135 for further details)  
The caliber number can be checked on the case back of your watch.  
→ “PERFORMANCE AND TYPE” on page 115

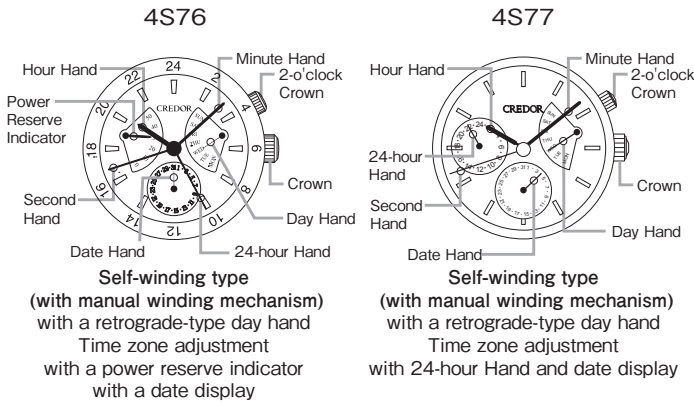
※ The caliber number identifies your watch type.



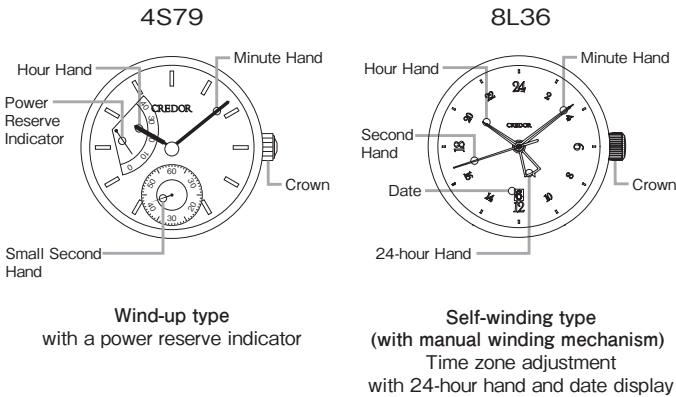
80



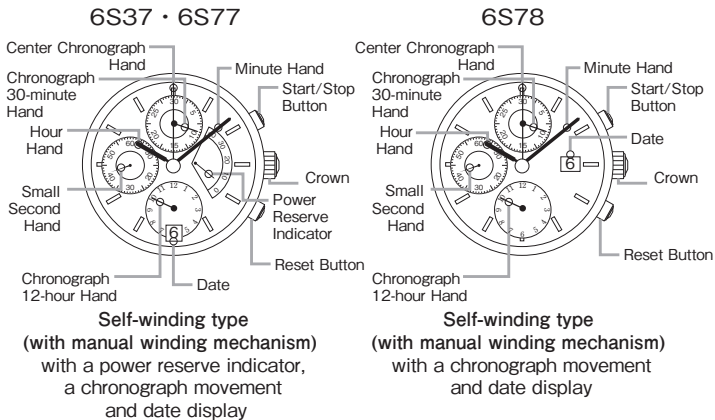
81



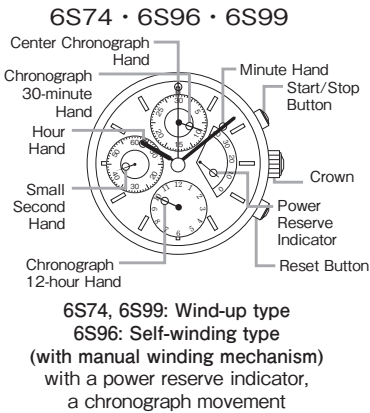
82



83



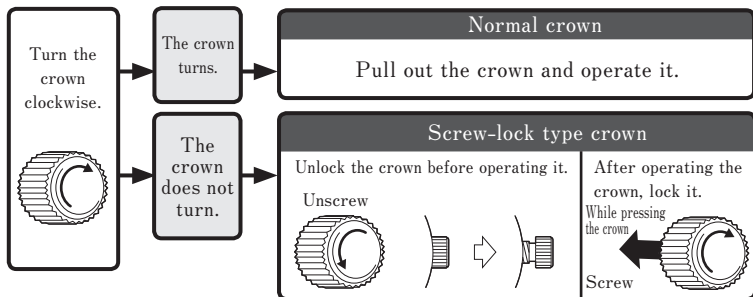
84



85

## CROWN

There are two types of crowns, a normal crown and a screw-lock crown. Check the crown on your watch.



- ※ If your watch has a screw-lock crown, the crown screws into the watch to prevent malfunction and increase water resistance.
- ※ Be careful not to screw the crown in by force as it may damage the slots of the crown.

86

### Self-winding watch (with manual winding mechanism)

The mainspring can be sufficiently wound automatically by natural movement of the arm while normally worn on the wrist. In addition, it can be wound by turning the crown.

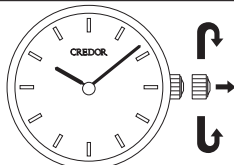
A stopped watch can be started by arm movement when it is worn on the wrist, however, before wearing the watch, wind the mainspring sufficiently and adjust the time and date.

It is recommended that you wear the watch on your wrist more than 10 hours a day to keep the mainspring wound up. If the mainspring is not wound up sufficiently, the watch may lose or gain time. When the mainspring is not wound up sufficiently, wind it up fully by turning the crown by hand every day at a fixed time.

88

### How to set the time

#### ① Models without a second hand (6870 • 6890 • 6899)



1. Make sure that the watch is operating.  
※ Always set the date and time when the watch is operating. If the watch is not operating, wind the mainspring. → "How to wind up the mainspring of the watch" on page 87
2. Pull out the crown.
3. Turn the crown to set the hour and minute hands to the time.  
Turn the crown clockwise, not counterclockwise, to set the time accurately.  
Push the crown back in to its normal position in accordance with a time signal.  
※ If the watch is a 68 series model with a small second hand (6898), the second hand continues to move when the crown is pulled out to the first click (time setting).  
○ The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time.  
○ Due to its wheel train mechanism, for setting the time of the mechanical watch correctly, the hands should be set back once slightly and then set forward to the correct time.

90

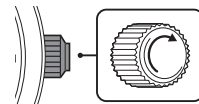
4. Push the crown back in to its normal position in accordance with a time signal.  
The watch starts operating.  
○ The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time.  
○ For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the time and date.  
○ Due to its wheel train mechanism, for setting the time of the mechanical watch correctly, the hands should be set back once slightly and then set forward to the correct time.

92

### How to wind up the mainspring of the watch

For a wind-up watch (the procedure below is the same when you wind up a self-winding watch by hand)

1. Do not pull out the crown.  
(In the case of a screw lock type crown, release the lock.)
  2. Slowly turn the crown clockwise to wind the mainspring.  
• When the mainspring approaches full-winding, turning of the crown is heavy more or less, however, this is caused by reaction force of the wound mainspring, which is not defective.  
• It is structured so that the crown can be further turned in the full-winding state. Although it is not necessary to worry about cutting the mainspring, refrain from excessive turning. (4S, 6S, 4L and 8L series)
- Note : In case of 68 series watches that have thin movement, it becomes harder to turn the crown when the mainspring is fully wound up. Be careful not to keep turning the crown forcibly. Otherwise the mainspring may be cut.
3. Wind up the mainspring fully every day at a fixed time to keep the watch moving accurately.



87

## POWER RESERVE INDICATOR

- The power reserve indicator lets you know the winding state of the mainspring.
- Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to check if the watch has stored enough power to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring. (To prevent the watch from stopping, wind the mainspring to store the excess power that will allow the watch to run for extra time.)

#### ② Models with a second hand (or a small second hand) (6898•4S71•4S79•6S74•6S96•6S99)



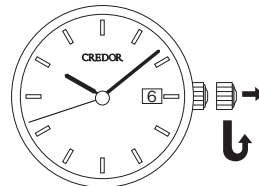
1. Make sure that the watch is operating.  
※ Always set the date and time when the watch is operating. If the watch is not operating, wind the mainspring. → "How to wind up the mainspring of the watch" on page 87
2. Pull out the crown to the first click to stop the watch when the second hand is at the 0 second position.  
※ If the crown of your watch is a screw lock type, unlock the crown. → CROWN on page 86  
※ If the watch is a 68 series model with a small second hand (6898), the second hand continues to move when the crown is pulled out to the first click (time setting).
3. Turn the crown to set the hour and minute hands to the time.

91

### How to set the time and date (4L75•8L75•6S37•6S77•6S78)

※ The date changes once every 24 hours at around 12 o'clock a.m. Therefore, if the a.m./p.m. is incorrectly set, the date will change around 12 o'clock p.m.

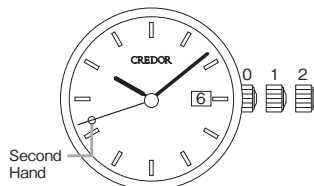
1. Make sure that the watch is operating.  
※ Always set the date and time when the watch is operating. If the watch is not operating, wind the mainspring. → "How to wind up the mainspring of the watch" on page 87  
○ Do not adjust the date between 10 o'clock p.m. and 1 o'clock a.m. If the date is adjusted during this period of time, the date may not change when the next day comes, or this may cause damage.
2. Pull out the crown to the first click.  
※ If the crown of your watch is a screw lock type, unlock the crown. → CROWN on page 86
3. The date can be adjusted by turning the crown clockwise (12 o'clock direction).  
First turn the crown clockwise until the previous day's date from the desired date appears.  
(Ex.) If you want to set the date to "6," set the date to "5" by turning the crown clockwise.



93



4. Pull out the crown to the second click to stop the watch when the second hand is at the 0 second position.
5. Turn the crown clockwise until the desired date appears. When the date changes, the time is a.m. Further turn the crown to set the current time.
6. Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal. The watch starts operating.



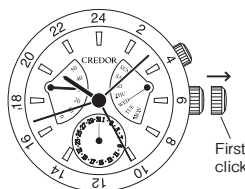
- The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time.
- For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the time and date.
- Due to its wheel train mechanism, for setting the time of a mechanical watch correctly, the hands should be set back once slightly and then set forward to the correct time.

94

## How to set the time, day, and date (4S76•4S77)

The date changed once every 24 hours at around 12 o'clock a.m. Therefore, if the a.m./p.m. is incorrectly set, the date will change around 12 o'clock p.m.

1. Make sure that the watch is operating.
  - ※Always set the date and time when the watch is operating. If the watch is not operating, wind the mainspring.
  - "How to wind up the mainspring of the watch on page 87"
  - Do not adjust the date between 9:30 o'clock p.m. and 2:30 o'clock a.m. If the date is adjusted during this period of time, the date may not change when the next day comes, or this may cause damage.
2. Pull out the 3 o'clock position crown to the second click. Turn the crown to set the 24-hour hand and the minute hand to the 12 o'clock position.
  - ※If the watch is equipped with the screw lock type crown, unscrew the crown before pulling it out. → CROWN on page 86
3. Push the 3 o'clock position crown back to its normal position.



96

9. Turn the crown clockwise until the desired date and day appears. When the date and day changes, the time is a.m. Further turn the crown to set the current time.
10. Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal. The watch starts operating.
  - ※The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time.
  - For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the time and date.
  - Due to its wheel train mechanism, for setting the time of a mechanical watch correctly, the hands should be set back once slightly and then set forward to the correct time.

### Note :

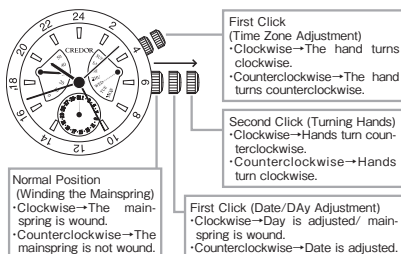
- Do not turn the minute hand counterclockwise at and around 1:00 AM while the date hand is showing "Monday" . Otherwise, the hour hand may turn free.
- If the minute hand is turned clockwise to set the time around 1:00 AM, the hour hand will not turn free.

## How to adjust the time zone

This caliber is equipped with a "time zone adjustment mechanism." By using the 2 o'clock position crown, the hour hand can be independently adjusted in one-hour increments. This eliminates the trouble of stopping the watch to adjust the time when you travel abroad. In addition, by using the 24-hour hand (GMT hand) at the center of the watch, the watch can be used as a dual time watch that shows home time and local time.

While the date can be adjusted by turning the hour hand for the "time zone adjustment mechanism", the date and day can be also adjusted independently by using the 3 o'clock position crown.

1. Check that the 3 o'clock position crown is at its normal position. Then pull out the 2 o'clock position crown to the first click.
2. Turn the 2 o'clock position crown to set the time of your destination.
3. On completing the adjustment of the 24-hour hand, push the 2 o'clock position crown back to its normal position.

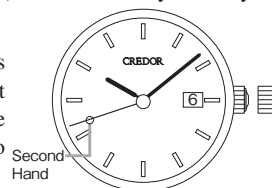


100

## Date adjustment at the end of the month

It is necessary to adjust the date after February (which has 28 days, 29 days in a leap year) and a 30 day month.

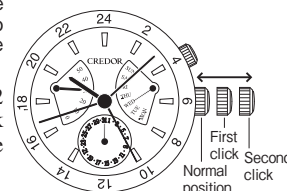
- (Ex.) On the first day of a 30 day month, "31" is displayed. Pull out the crown to the first click. Turn the crown clockwise to set the date to "1," and push the crown back in to the normal position.



- For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the date.
- Do not adjust the date between 10 o'clock p.m. and 1 o'clock a.m. If the date is adjusted during this period of time, the date may not change when the next day comes, or this may cause damage.

95

4. Pull out the 2 o'clock position crown to the first click. Turn the crown to adjust the time zone, and set the hour hand to the 12 o'clock position.
  - ※ To adjust the time zone, the hand can be turned either clockwise or counterclockwise without any problem.
5. Push the 2 o'clock position crown back to its normal position.
6. Pull out the 3 o'clock position crown to the first click.
7. Turn the 3 o'clock position crown clockwise to adjust the day. Then turn the crown counterclockwise to adjust the date.
  - ※When the day is adjusted by turning the crown clockwise, the mainspring is also wound. This makes turning the crown a little heavy but this is not a malfunction.
8. When the second hand reaches the 12 o'clock position, pull out the 3 o'clock position crown to the second click (the second hand will stop).

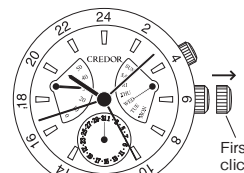


97

## Date adjustment at the end of the month

It is necessary to adjust the date after February (which has 28 days, 29 days in a leap year) and a 30 day month.

- (Ex.) On the first day of a 30 day month, "31" is displayed. Pull out the crown to the first click. Turn the crown clockwise to set the date to "1," and push the crown back in to the normal position.



- For models with a screw lock type crown, always screw the crown up again after setting the time and date.
- Do not adjust the date between 9:30 p.m. and 2:30 a.m. If the date is adjusted during this period of time, the date may not change when the next day comes, or this may cause damage.

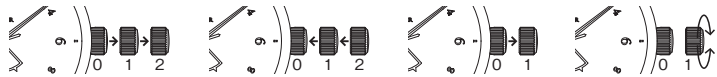
### Note :

When adjusting the time zone using the 2 o'clock position crown, if the crown is turned with the 3 o'clock position crown pulled to the second click (where hands can be turned), the time zone adjustment mechanism may fail to work and the time zone may not be adjusted. Therefore, ensure that the 3 o'clock position crown is pushed to its normal position when adjusting the time zone.

101

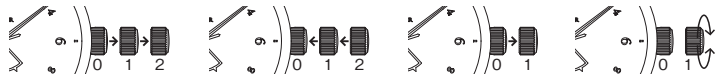
How to set the time, 24-hour hand and date (8L36)

Method 01: To set the 24-hour hand to the current time of your area



- 1. Make sure that the watch is operating.  
※Always set the date and time when the watch is operating. If the watch is not operating, wind the mainspring. → "How to wind up the mainspring of the watch" on page 87
- 2. Pull out the crown to the second click when the second hand is at the 12 o'clock. The second hand stops on the spot.  
※If the watch is equipped with the screw lock type crown, unscrew the crown before pulling it out. CROWN on page 86
- 3. Turn the crown clockwise to set the 24-hour and minute hands to the current time of your area. Check that AM/PM is correctly set.
- 4. Push the crown back in to the unscrewed position in accordance with a time signal for "00" seconds. Adjustments of the 24-hour, minute and second hands have been completed.
- 5. Then, pull out the crown to the first click and turn it to the hour hand to the current time.

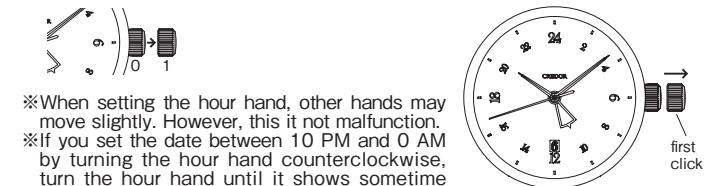
Method 02: To set the 24-hour hand to the time of an area in a different time zone



- 1. Make sure that the watch is operating.  
※Always set the date and time when the watch is operating. If the watch is not operating, wind the mainspring. → "How to wind up the mainspring of the watch" on page 87
- 2. Pull out the crown to the second click when the second hand is at the 12 o'clock. The second hand stops on the spot.  
※If the watch is equipped with the screw lock type crown, unscrew the crown before pulling it out. CROWN on page 86
- 3. Turn the crown clockwise to set the 24-hour and minute hands to the Greenwich Mean Time. Check that AM/PM is correctly set.
- 4. Push the crown back in to the unscrewed position in accordance with a time signal for "00" seconds. Adjustments of the 24-hour, minute and second hands have been completed.
- 5. Then, pull out the crown to the first click and turn it to the hour hand to the time of Japan.

Time difference adjustment

Set the hour hand to the time of any area using the time difference obtained in "How to calculate the time differences"



- 1. Pull out the crown to the first click.
- 2. Turn the crown to set the hour hand to the time of any area.
- 3. After setting the hour hand, push back the crown.  
◎For models with a screw lock type crown, make sure to screw the crown up again after winding the mainspring.

List of time zone differences in major regions of the world

Rever to "How to use the time difference adjustment function" on page 65

Regions marked with ★ use daylight saving time (as of January, 2007).

Names of the cities	Time difference from Japan	Time difference from UTC	Other cities
Wellington ★	+3 hours	+12 hours	Fiji islands, Auckland ★
Nouméa	+2 hours	+11 hours	Solomon Islands
Sydney ★	+1 hour	+10 hours	guam, Khabarovsk ★
Tokyo	± 0	+9 hours	Seoul, Pyongyang
Hong Kong	-1 hours	+8 hours	Manila, Beijing, Singapore
Bangkok	-2 hours	+7 hours	Jakarta
Dacca	-3 hours	+6 hours	Tashkend ★
Karachi	-4 hours	+5 hours	
Dubai	-5 hours	+4 hours	
Moscow ★	-6 hours	+3 hours	Mecca, Nairobi
Cairo ★	-7 hours	+2 hours	Athens ★, Istanbul ★

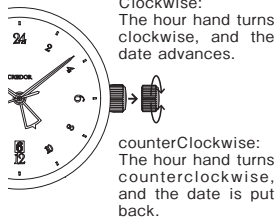
The time differences and use of daylight saving time in each region are subject to change according to the governments of the respective countries or regions.

- The date can be adjusted at this step. (To do so, refer to P.107 TO SET THE DATE.)
- ※Check that AM/PM is correctly set by turning the hour hand past the 12 o'clock marker. If the date changes to the next, the time is set for the AM period. If the date does not change, the time is set for the PM period.
- ※When setting the hour hand, other hands may move slightly. However, this is not malfunction.
- 6. After setting the hour hand, push back the crown and screw it completely by turning it clockwise.

- The date can be adjusted at this step. (To do so, refer to P.107 TO SET THE DATE.)
- ※Check that AM/PM is correctly set by turning the hour hand past the 12 o'clock marker. If the date changes to the next, the time is set for the AM period. If the date does not change, the time is set for the PM period.
- ※When setting the hour hand, other hands may move slightly. However, this is not malfunction.
- 6. After setting the hour hand, push back the crown and screw it completely by turning it clockwise.

To set the date

- 1. Pull out the crown to the first click.
- 2. Turn the crown to set the date. By turning the hour hand two full circles clockwise or counterclockwise at the maximum, one day is advanced or put back, respectively.  
※When setting the hour hand, other hands may move slightly. However, this it not malfunction.
- 3. After setting the date, reset hour hand to the current hour, and then, push the crown back.  
◎For models with a screw lock type crown, make sure to screw the crown up again after winding the mainspring.
- ※check that AM/PM is correctly set by turning the hour hand past the 12 o'clock marker. If the date changes to the next, the time is set for the AM period. If he date does not change, the time is set for the PM period.
- ※If you set the date between 10 PM and 0 AM by turning the hour hand counterclockwise, turn the hour hand until it shows sometime between 9 PM and 10 PM once, then set the date. In case the hour hand is turned counterclockwise, the date will be put back when the hour hand shows around 10 PM, however, it is not malfunction.



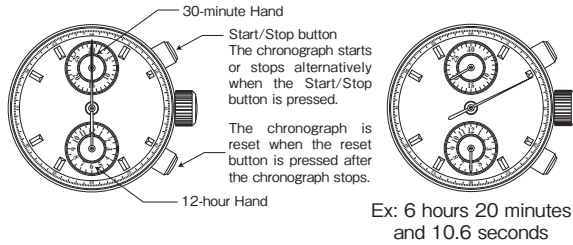
There are time zone differences based on time offsets from Coordinated Universal Time (UTC), which has been internationally adopted. The world is divided into 24 time zones, and neighboring time zones have a one-hour time difference, so that they correspond to the rotation of the earth which makes one full rotation in 24 hours (1 day). In some regions of the world, daylight saving time is individually observed. Daylight saving time is a system that advances the official local time by one hour during the summer to take advantage of longer daylight hours.

Names of the cities	Time difference from Japan	Time difference from UTC	Other cities
Paris ★	-8 hours	+1 hour	Roma ★, Amsterdam ★
London	-9 hours	± 0	Casablanca
Azores ★	-10 hours	-1 hour	
Rio de Janeiro ★	-12 hours	-3 hour	
Santiago ★	-13 hours	-4 hour	
New York ★	-14 hours	-5 hour	Washington ★, Montreal ★
Chicago ★	-15 hours	-6 hour	Mexico City ★
Denver ★	-16 hours	-7 hour	Edmonton ★
Los Angeles ★	-17 hours	-8 hour	San Francisco ★
Anchorage ★	-18 hours	-9 hour	
Honolulu	-19 hours	-10 hour	
Midway Islands	-20 hours	-11 hour	

How to use the CHRONOGRAPH (6S series)

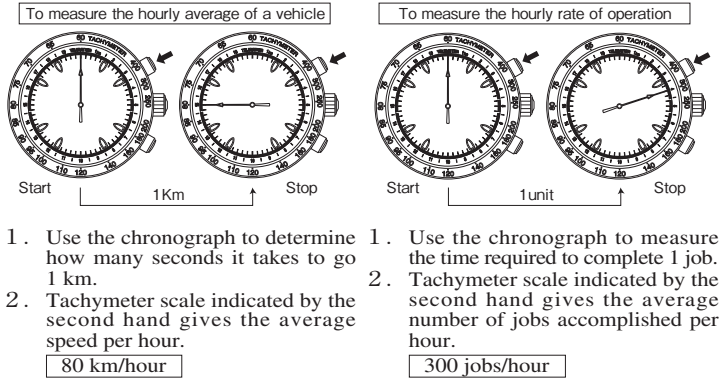
The chronograph measures up to 12 hours in 1/5-second increments.

- Pressing Start/Stop button repeatedly enables the chronograph to continue to count.
- If the mainspring of the watch is not wound up sufficiently, the chronograph does not work.
- In order to reset the chronograph, press the reset button when the chronograph is not working.



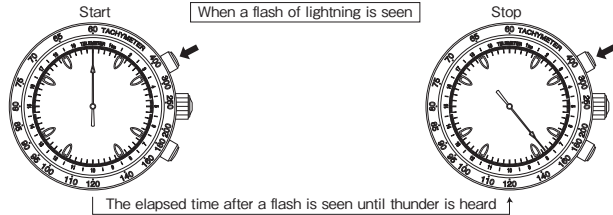
How to use the TACHYMETER

The TACHYMETER scale can be used to measure the hourly average of a vehicle or the hourly rate of operation.



How to use the TELEMETER

The TELEMETER scale can be used to measure the distance of something (ex: lightning) from the wearer of the watch by the amount of time it takes for a sound to travel.



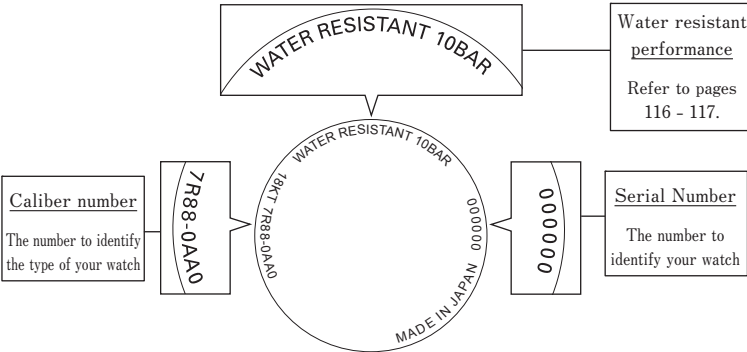
1. Press the Start/Stop button to start the chronograph when a flash of lightning is seen.
  2. Press the Start/Stop button to stop the chronograph when thunder is heard. Telemeter scale indicated by the second hand gives the distance of the lightning.
- The distance between you and the lightning is 8 km.

DAILY CARE

- It is highly recommended for you to take good care of the watch in order to enjoy the superb quality of the watch for a long time.
  - The watch body and band touch the skin directly just as underwear. Keep the watch body and band clean in order to avoid stain on the sleeve edge or rash or itch. After removing the watch from your wrist, wipe perspiration or moisture with a soft cloth as soon as possible.
  - Do not use any chemical agent such as cleaner to clean the watch.
- Turn the crown from time to time. (Only several turns in slow movement will be enough.)
  - This prevents corrosion of the crown and helps to extend the life of the gasket in use.
  - The same practice should be applied to the screw-lock type crown. (No need to pull out the screw-lock type crown.)  
→ CROWN on page 86
  - Stainless steel is a highly rust-resistant metal. However, rust will form if contaminants are left on it for a long time.

PERFORMANCE AND TYPE

The case back shows the caliber and performance of your watch



※ The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

WATER RESISTANCE

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.  
(Refer to “page 115” )

Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life.
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures	The watch is suitable for sports such as swimming.
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

## MAGNETIC RESISTANCE

Affected by nearby magnetism, this watch may temporarily stop operating, or gain or lose time.

This watch is a magnetic resistant watch that is fully compliant with JIS level-1 standard.

### How to handle the watch

Keep the watch 5 cm or more away from magnetic products.  
(JIS level-1 standard)

If the accuracy exceeds the accuracy target range during normal usage due to magnetization, removal of magnetism and accuracy readjustment works are charged regardless of the guarantee period.

#### ● Why is this watch affected by magnetism?

Because the adjustment mechanism equipped in the Spring Drive uses a magnet, which is affected by strong magnetism from outside.

118

## WATCH BAND

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust.

Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

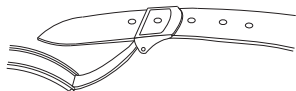
#### ● Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.  
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

120

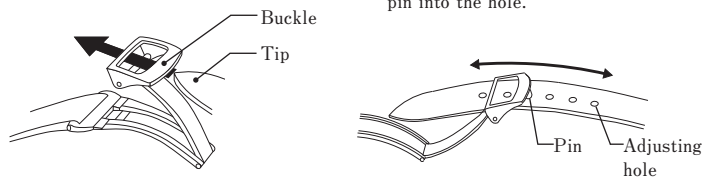
## HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP

### ·Three-piece foldover clasp



### ·How to adjust the length of the band

- ① Thread the tip of the band to the buckle.
- ② Slide the band to adjust its length and find the appropriate adjusting hole. Place the pin into the hole.



122

## REMARKS ON 18-KARAT GOLD

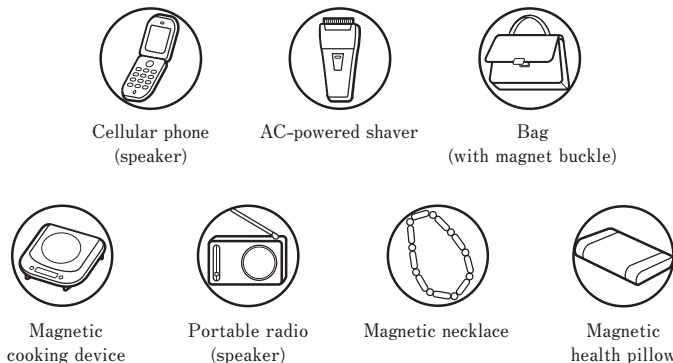
18-karat gold (18KT) is an alloy comprised of 75% of gold and 25% of other metals. Depending on the proportion of the other metals mixed with the gold, the 18-karat gold is classified into three colors such as yellow gold (YG), white gold (WG) and pink gold (PG).

#### ● Decoloration of 18-karat gold

- While gold can maintain its glittering quality, other metal components in the alloy may discolor to look like reddish or blackish due to various reasons.
- Daily care helps to prevent discoloration of the alloy, however, if the discoloration or stain of the alloy persists even after wiping the watch off, take your watch to the retailer from whom the watch was purchased for refinishing. (Refinishing will be made at cost.)

124

## Examples of common magnetic products that may affect watches



119

#### ● Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10-BAR water resistant).

#### ● Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.  
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible or cracked, replace the band with a new one.

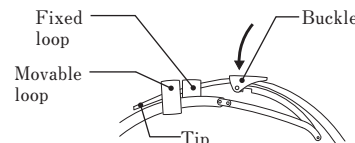
Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.



121

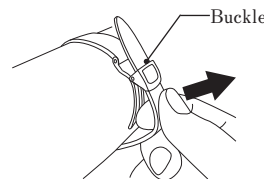
### ·How to wear the watch

Insert the tip of the band into the fixed loop and movable loop, and push the buckle down to fasten the clasp.

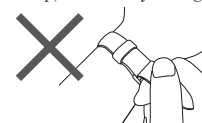


### ·How to take off the watch

Place your finger between the band and clasp. Pinch the band with your fingers and pull it forward to open the clasp.



※ Do not pull the tip of the band to open the clasp, as this may damage the band.



※ If it is difficult to open the band following the above procedure, hold both sides of the buckle to open the clasp.

123

## WATCH BODY/METAL BRACELET

#### ● Length adjustment service

- For the length adjustment service of the 18-karat gold or platinum bracelet, ask the retailer from whom the watch was purchased. The watch will be submitted to CREDOR SERVICE STATION for the length adjustment. It may take two to three weeks depending on the model to adjust the length of the bracelet.
- The length adjustment service of the 18-karat gold or platinum bracelet will not be charged only for the first time. However, the cost for materials or parts necessary for the length adjustment and repair cost other than the length adjustment will be charged.
- Only the first length adjustment of the 18-karat gold or platinum bracelet is free of charge. However, the cost for materials or parts necessary for length adjustment and repair cost other than length adjustment will be charged.
- The length adjustment service of stainless-steel band is available from the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. Some other retailers may charge you for the length adjustment or may not undertake such treatments.

#### ● Periodic cleaning

- Periodic cleaning is highly recommended to enjoy the best quality of the watch for a long time. Ask the retailer from whom the watch was purchased or the CREDOR SERVICE STATION through your nearby SEIKO retailers. (Cleaning may be made at cost.)

125



LUMIBRITE

If your watch uses LumiBrite

LumiBrite absorbs the energy of sunlight or artificial light in a short time (light of more than 500 lux for approximately 10 minutes) and stores it to emit light in darkness for a long time (approximately 3 to 5 hours). Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the amount of light the watch stores.

※ LumiBrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and the natural environment.

<Reference data on luminance>

Environment	Reference data on luminance	
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoors (Window side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weather	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	1 m	1,000 lux
	3 m	500 lux (average room luminance)
	4 m	250 lux

126

AFTER-SALE SERVICE

Notes on after-sale service and guarantee

- Your CREDOR watch was strictly checked and completely adjusted at the factory to ensure its high accuracy. However, if your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the retailer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee. Repair and adjustment will be made without charge.
- The guarantee period and detailed guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee.
- For repair services after the guarantee period has expired or for any other information regarding the CREDOR watch, please contact the retailer from whom your watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed at the back of the booklet).

Notes on repair parts

- The CREDOR repair parts will be retained usually for 10 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally.
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts may be replaced with substitutes if the originals are not available.
- For any other information regarding the CREDOR watch, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed at the back of the booklet).

128

Notes on overhaul

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 2 to 3 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. The power transmission gear of the movement of this watch constantly receives force. To ensure that this mechanism works properly all the time, washing parts, changing oil, adjusting accuracy, checking functions and replacing consumable parts on a regular basis are important. The first overhaul after the purchase of your watch is particularly important for preserving long-time use of your watch. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts may occur due to contamination of oil, which may ultimately lead the watch itself to stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul).
- For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS."
- When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.

129

TROUBLE SHOOTING

TROUBLESHOOTING

Trouble	Possible Cause	Solution
The watch stops operating.	The remaining power for driving the watch has been consumed.	Wind the mainspring according to the "HOW TO WIND THE MAINSPRING" to readjust the time before use.
The watch temporarily gains/loses time.	The watch was brought into close contact with a magnetic object.	By distancing magnetism, accuracy is recovered. Readjust the time. If accuracy is not recovered, consult the retailer from whom the watch was purchased.
	The watch was dropped, worn while playing active sports, hit against hard surfaces, or exposed to strong vibrations.	Accuracy cannot be recovered. Consult the retailer from whom the watch was purchased.
	Inspection, adjustment, and overhaul cleaning have not been performed for the watch for more than 3 years.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.
The date changes during daytime.	AM/PM is not correctly set.	Advance the hour hand for 12 hours and reset the time and date.
Blur in the display persists.	Small amount of water has got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.

※For the solution of troubles other than above, contact the retailer from whom the watch was purchased.

132

SPECIFICATIONS

	6870	6890	6899	6898	8L36	8L75	4L75	4S71	4S76	4S77
Features	Hour and minute hands			Hour, minute, and small second hands	Hour, minute, and second hands, and 24-hour	Hour, minute, and second hands, and date		Hour, minute, and second hands	Hour minute, second, 24-hour, Power reserve Indicator, date and day hands	Hour, minute, second, 24-hour, date, and day hands
Vibrations/hour	21,600				28,800					
Loss/gain	(Second /day)+25 to −15				(Second /day)+15 to −10					
Driving system	Wind-up type				Self-winding type with manual winding mechanism					
Duration	Approx.37 hours				Approx.50 hours		Approx.42 hours	Approx.40 hours	Approx.50 hours	
Jewels	22 jewels		26 jewels		27 jewels	26 jewels	25 jewels		31 jewels	28 jewels

	4S79	6S74	6S37-6S77	6S96	6S99	6S78
Features	Hour, minute, and small second hands, and power reserve indicator	Hour, minute, small second, center chrono, chrono 30-minute, and chrono 12-hour hands, and power reserve indicator  (6S37-6S77:7 hands and date)				6 hands (hour, minute, small second, center chrono, chrono 30-minute, and chrono 12-hour hands) and date
Vibrations/hour	28,800					
Loss/gain	(Second /day)+15 to −10					
Driving system	Wind-up type		Self-winding type with manual winding mechanism		Wind-up type	Self-winding type with manual winding mechanism
Duration	Approx.40 hours	Approx.60 hours	Approx.50 hours	Approx.60 hours		Approx.50 hours
Jewels	31 jewels	35 jewels	40 jewels	38 jewels	35 jewels	34 jewels

- The loss / gain specified above is factory-adjusted. (chrono = chronograph)
- Due to the mechanical watch mechanism, actual loss/gain may not fall within the range of the loss/gain specified above, depending on various environment or conditions (including temperatures, arm movement, the amount the mainspring is wound up, and other conditions in which the watch is worn).

134

135

## セイコーウォッチ株式会社

<http://www.seiko-watch.co.jp/>

クレドール専用フリーダイヤル 0120-302-617

受付時間 (月曜日～金曜日) 9:30～21:00

(土曜・日曜・祝日) 9:30～17:30

## お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル

〒550-0013 大阪市西区新町1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング